

フェロモントラップを設置されている支援機関様

害虫発生予察の業務負担を劇的に改善。



従来の手作業調査（フェロモントラップ回収・集計）

160

- ・年間 **40回** の調査訪問
- ・1回あたり **4時間** の作業（移動・回収・集計・分析）

年間 **160時間** の作業負担



ムシミエール導入後（完全自動化）

- ・年間 **10回** 程度のメンテナンスのみ（バッテリー交換等）
- ・1回あたり **1時間** の作業

10

年間 **10時間** に短縮

作業時間を
年間 **150時間** 削減 94%の大幅カット

人件費を
年間 **22.5万円** 削減

※時給1,500円で換算

調査の人的コストを削減しつつ、リアルタイムでの近隣地域の情報取得・農家への迅速な防除情報の提供が可能になります。



日本農業支援サービス
jagriss.com